

2018年度 決算説明会

決算概要および2019年度通期見通し

2019年6月4日

シンフォニアテクノロジー株式会社
(証券コード6507)

目次

- 2018年度決算概要 P.3
- 中期経営計画の進捗 P.7
- 2019年度通期見通し P.17

2018年度決算概要

2018年度連結決算

(単位：億円)

	17年度 実績	18年度 実績	対前年比		(参考)19/2公表ベース	
			増減額	増減率	予想	差異
受注高	990.4	953.9	▲36.5	▲3.7%	-	-
売上高	903.2	941.6	38.4	4.2%	950.0	▲8.4
営業利益	71.1	62.4	▲8.7	▲12.3%	67.0	▲4.6
経常利益	70.3	63.0	▲7.3	▲10.4%	66.0	▲3.0
当期利益 (※)	52.6	46.4	▲6.2	▲11.8%	47.0	▲0.6

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別業績総括(受注高)

(単位：億円)

		17年度 実績	18年度 実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	受注高	412.0	392.2	▲19.8	▲4.8%
	受注残高	257.6	270.0	12.4	4.8%
パワーエレクトロ ニクス機器	受注高	405.7	364.2	▲41.5	▲10.2%
	受注残高	221.3	212.2	▲9.1	▲4.1%
サポート& エンジニアリング	受注高	172.7	197.4	24.7	14.3%
	受注残高	66.6	75.6	9.0	13.5%
計	受注高	990.4	953.9	▲36.5	▲3.7%
	受注残高	545.4	557.7	12.3	2.3%

セグメント別業績総括(売上損益)

(単位：億円)

		17年度 実績	18年度 実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	売上高	372.1	379.8	7.7	2.1%
	営業利益	19.7	13.4	▲6.3	▲31.8%
パワーエレクトロニクス 機器	売上高	361.8	373.3	11.5	3.2%
	営業利益	43.4	33.8	▲9.6	▲22.1%
サポート& エンジニアリング	売上高	169.3	188.4	19.1	11.3%
	営業利益	8.3	15.4	7.1	85.5%
計	売上高	903.2	941.6	38.4	4.2%
	営業利益	71.1	62.4	▲8.7	▲12.3%

中期経営計画の進捗



中期経営計画の概要

前提環境の変化

当初想定

- ・半導体・FA業界、中国向けの成長
- ・生産の高度化、効率化の動き拡大
- ・安定的な防衛予算

現在状況

- ・半導体・FA業界調整局面。中国減速
- ・生産の高度化、効率化の動き継続
- ・防衛予算の配分見直し

基本戦略

1. 中核事業の拡大
2. 海外事業拡大
3. 次世代ビジネスの創出
4. 積極的な投資による生産力増強

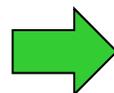
施策の着実な実行

- > 生産効率改善による利益創出
- > 市況持ち直しに備えての
生産体制構築
- > 将来に向けた製品開発加速
- > 海外法人での開発・生産力強化

中核事業 ①航空宇宙事業

当初想定

- 宇宙機器産業の市場規模拡大
- 民間航空機分野の電動化加速
- 安定的な防衛予算



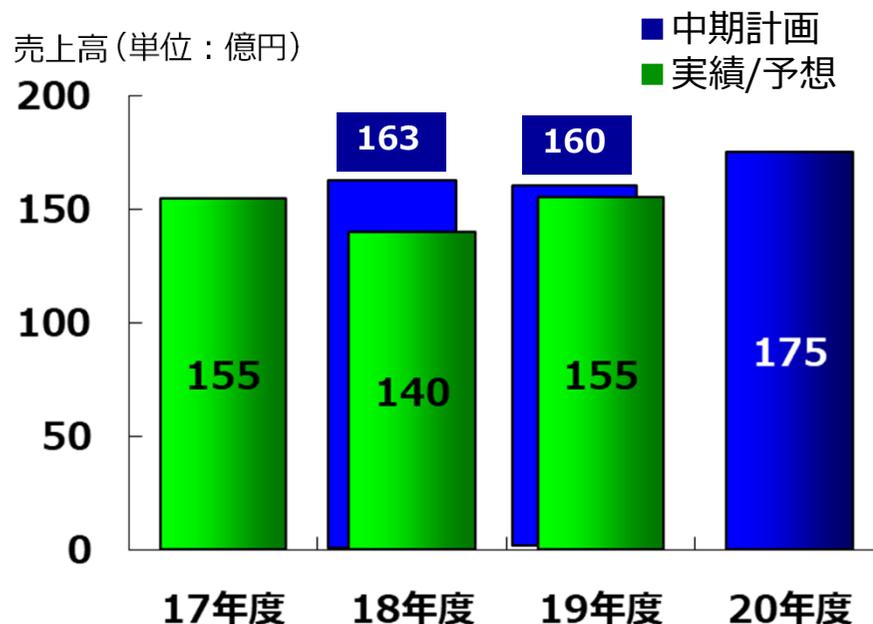
現在の状況

- 宇宙機器産業の市場規模拡大継続
- 民間航空機分野の電動化加速継続
- 防衛予算の配分見直し



取組

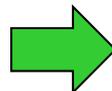
- 航空機・H3/将来イプシロン
ロケット関連のメニュー拡充
- 次世代民航向け電装品の開発
- 開発・生産体制の見直し



中核事業 ② モーションコントロール機器事業

当初想定

- FA・半導体製造装置業界の拡大継続
- 自動車の需要拡大と小型モビリティの商業化



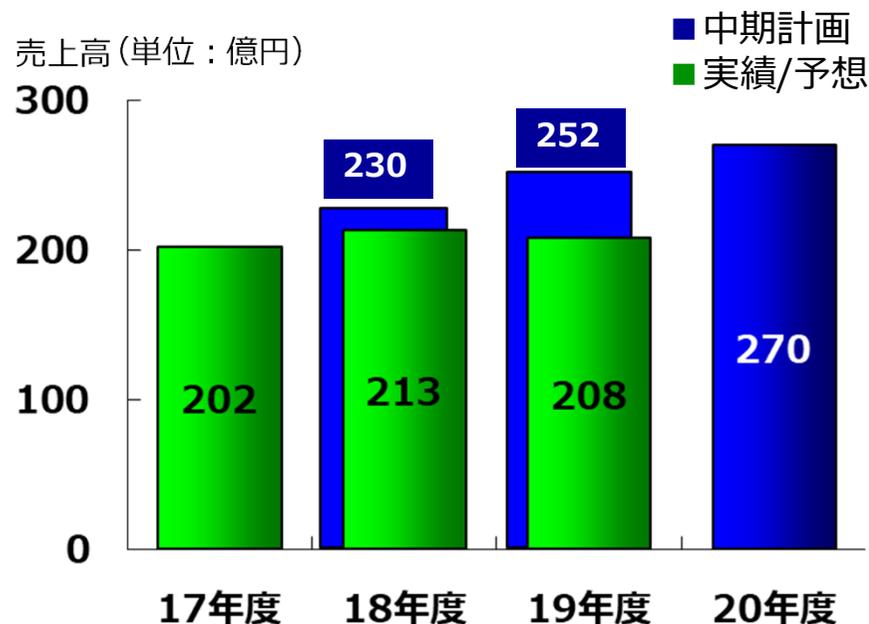
現在の状況

- FA・半導体製造装置業界の設備投資姿勢慎重化
- 中国等自動車販売台数の低迷と小型モビリティの商業化遅れ



取組

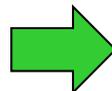
- 需要回復に備えた生産体制構築
- 自動車搭載用電装品、クラッチの開発
- 建機用情報画像コントローラの開発



中核事業 ③クリーン搬送機器事業

当初想定

- 投資伸び率鈍化はあるも
拡大基調持続
- 中国で大規模な投資計画進行



現在の状況

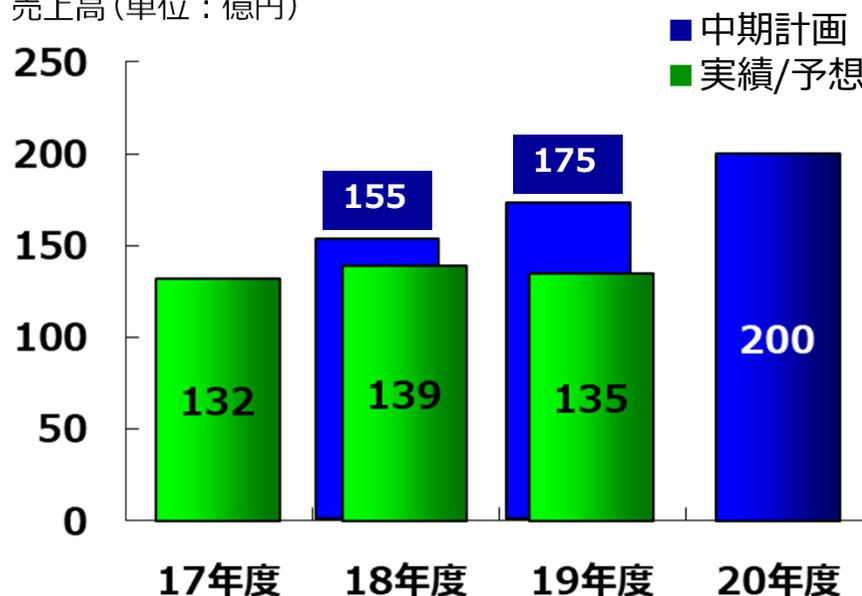
- 投資は調整局面
回復期待は期後半から
- 中国の投資計画は継続も
貿易摩擦の影響あり



取組

- 微細化対応システム品の
メニュー開発
- クリーン搬送機器工場
拡張による生産強化
- 米国での開発・サービス業務強化

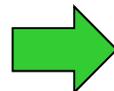
売上高(単位:億円)



中核事業 ④ 振動機器事業

当初想定

- 新興国における資源開発拡大
- 電子部品業界の成長持続



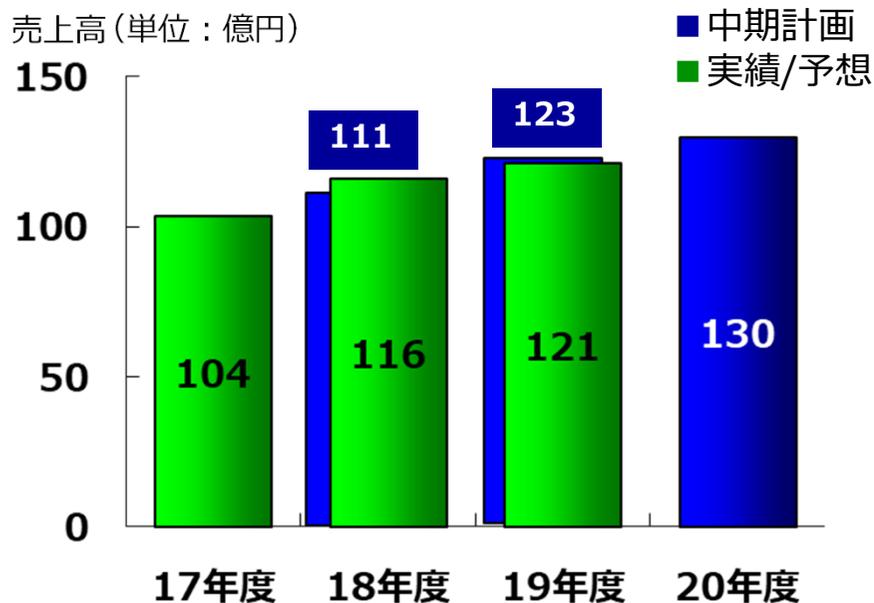
現在の状況

- ニーズはあるものの進捗は遅い
- 電子部品業界は調整局面 持ち直し期待は期後半から



取組

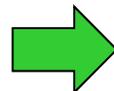
- 食品・素材向け振動機器の拡販
- 海外向けの機種開発
- 画像処理システム付 小型振動機器拡販



中核事業 ⑤エンジニアリング事業

当初想定

- 民間電気設備等の設備工事の堅調さ継続
- 中国の半導体製造工場建設活況



現在の状況

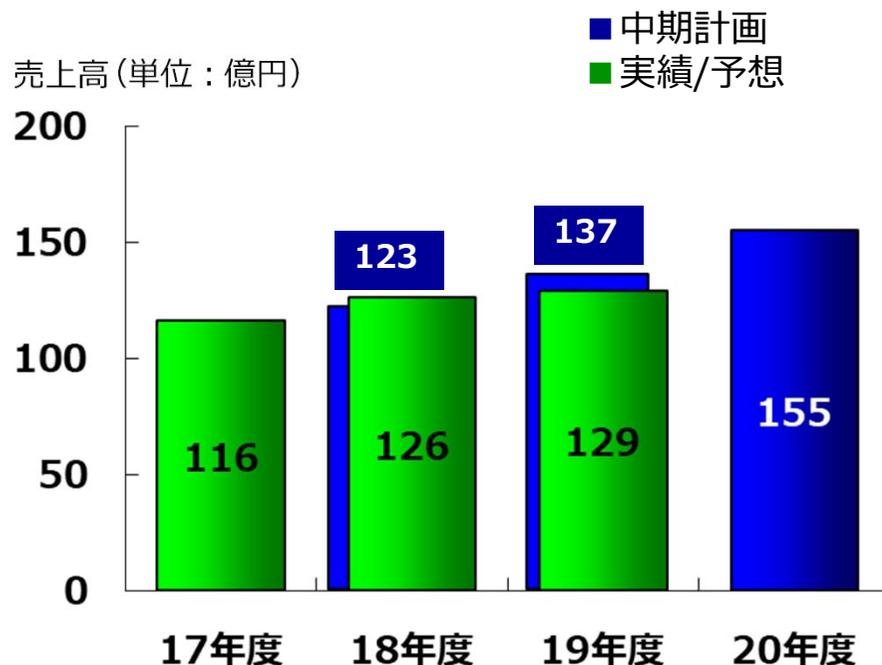
- 国内民間電気設備等の工事は依然堅調さ持続
- 中国半導体製造工場建設に貿易摩擦の影響あり



取組

- 国内営業地区拡大による民間電気設備等の工事獲得
- 中国・台湾・国内の搬送設備工事獲得に向けた要員増強

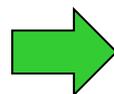
売上高 (単位：億円)



海外事業拡大

当初想定

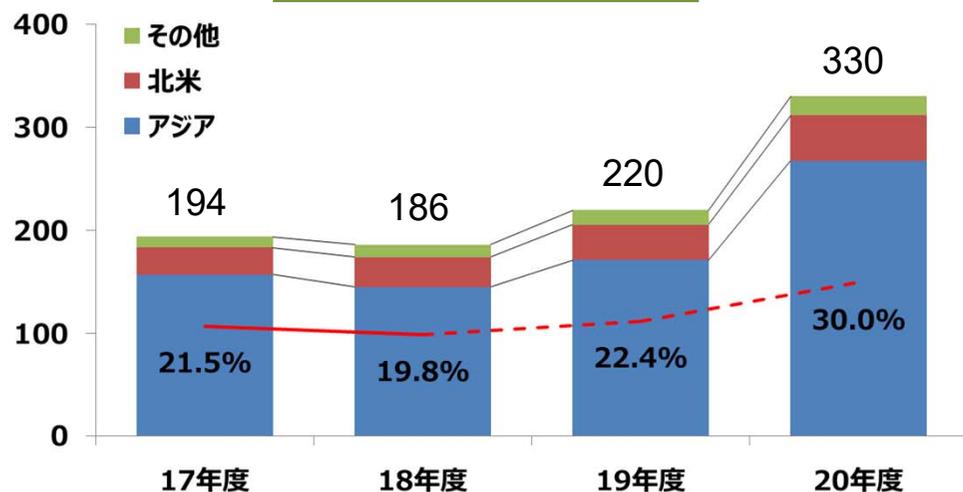
- 中国の半導体製造工場建設活況
- 新興国における資源開発拡大



現在の状況

- 中国半導体製造工場建設に貿易摩擦の影響あり
- ニーズはあるも進捗は遅い
一方で食品、素材分野は堅調

海外売上高/比率



(単位：億円)



取組

- 中国・台湾の搬送設備工事獲得に向けた要員増強
- 食品、素材分野への注力と海外向けの機種開発

次世代ビジネスの創出 ①再生医療分野

細胞培養システムの開発

1stStage

- 特殊環境搬送技術を応用した細胞培養容器搬送装置開発



細胞培養容器搬送装置
(開発当初)

2ndStage

- 細胞培養プロセスに対応したシステムの開発



細胞培養システム
(開発当初イメージ)



開発中の細胞培養システム
(イメージ図)

次世代ビジネスの創出 ②航空・宇宙分野

航空機の電動化に向けた製品開発

- プロペラの電動駆動化に向けた
モータ・コントローラ開発
- ポイントは重量軽減のため
モータ等装備品の小型化・軽量化
- 2020年代なかばの試作品納入を目標



電動航空機イメージ

開発部分(イメージ)



2019年度通期見通し

2019年度連結通期見通し

(単位：億円)

	18年度 実績	19年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	953.9	1000.0	46.1	4.8%
売上高	941.6	980.0	38.4	4.1%
(%)	6.6%	6.6%	-	0.0%
営業利益	62.4	65.0	2.6	4.2%
経常利益	63.0	64.0	1.0	1.6%
当期利益 ^(※1)	46.4	47.0	0.6	1.4%
ROA ^(※2)	4.4%	4.4%	-	0.0%

(※1)親会社株主に帰属する当期純利益

(※2)ROA=当期利益/総資産

セグメント別見通し(受注)

(単位：億円)

		18年度 実績	19年度 予想	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	受注高	392.2	368.0	▲24.2	▲6.2%
パワーエレクトロ ニクス機器	受注高	364.2	410.0	45.8	12.6%
サポート& エンジニアリング	受注高	197.4	222.0	24.6	12.5%
計	受注高	953.9	1000.0	46.1	4.8%

セグメント別見通し(売上損益)

(単位：億円)

		18年度 実績	19年度 予想	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	売上高	379.8	390.0	10.2	2.7%
	営業利益	13.4	10.0	▲3.4	▲25.4%
パワーエレクトロ ニクス機器	売上高	373.3	390.0	16.7	4.5%
	営業利益	33.8	39.0	5.2	15.3%
サポート& エンジニアリング	売上高	188.4	200.0	11.6	6.2%
	営業利益	15.4	16.0	0.6	3.6%
計	売上高	941.6	980.0	38.4	4.1%
	営業利益	62.4	65.0	2.6	4.2%

ご清聴ありがとうございました

将来予測について

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。